

書 評

地学団体研究会新潟支部 新潟県中越地震調査団（代表：吉村尚久）編著
「2004年新潟県中越地震—中越地震の被害と地盤— 地団研専報 No.54」

A4版, 123 p., ISSN 0912-5760, CD-ROM付, 2005年8月1日発行（書店では販売しておりません。
購入等の問合せ先：〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-24-1 河合ビル 5F, 地学団体研究会（電話：
03-3983-3378））

水谷伸治郎

中越地震（2004.10.23）直後、新潟大学の理学部と教育学部で、かつて地質学を教え、また、学んだ人たちがOBが自発的に被害状況の踏査に出る計画をたて、翌24日から予察をはじめた。この専門家グループは10月28日から本格的な調査を行い、とくに地盤の変化と家屋の被災状況について、現地の実情を記録し、その結果を報告書としてまとめた。本書の約3分の2を占める地震被害の章では、それぞれの地域ごとに地盤と家屋の被災状況、およびその分布が被災図としてまとめられている。なかでも、旧山古志村や川口、小千谷など激震地域の被害状況は1万分の1の地図上に丹念に記録されていて、詳細な調査データは、今後、被災原因の究明や防災対策に大いに役立つことであろう。